

ジェンダーバイアスと未来の結婚式を考えるプロジェクト

1. プロジェクト名

ジェンダーバイアスと未来の結婚式を考えるプロジェクト

2. 参加者

清泉女子大学(地球市民学科)安齋徹ゼミナール・株式会社ウエディングパーク・株式会社八芳園

3. 問題意識

ジェンダー平等の観点から、我が国の「結婚式」には課題が多い。
(SDGS目標5:ジェンダー平等を実現しよう)



4. アクション

ジェンダーバイアスの観点から結婚式が抱える問題を明らかにし、多様性を尊重するジェンダーフリーな結婚式を提案する。



5. プロセス

- (1)DAY 1(2022/9/27) 結婚式の基礎知識／デザイン思考とは？
式場見学／結婚式の演出について
- (2)DAY 2(2022/10/11) 座学:ジェンダーバイアスとは？
ワーク:結婚式について考える
- (3)グループワーク 15名のゼミ生を3つのグループに分けて
課題・戦略・戦術を探究
- (4)DAY 3(2022/11/1) 提言発表会



6. 提言内容

- ①「カップルが満足できる結婚式」というテーマで、ジェンダーの視点から格差がないように準備段階から工夫し、結婚式の衣装や各種イベントにも選択肢を増やす
- ②「参加者全員が既存の結婚式にとらわれない結婚式」というテーマで、言葉によってバージンロード、ファーストバイト、代表挨拶、感謝の手紙などの演出の意味づけを変えていく
- ③「カップルの二人が主役になれる結婚式」というテーマで、ジェンダーフリーの衣装、バージンロードからウェディングロードへの名称変更、カップルが楽しめるbuffetなどを取り入れる

7. 学生のコメント

「結婚式を挙げたことも、参列した経験もない私たちがこのプロジェクトに取り組むことはとても難しかったが、話し合いを重ねていく中で自分たちの納得のいく提案ができた」「ジェンダーフリーだから新しくしていいこうという時代の変化と、従来のやり方の素晴らしさを活かしていいこうという2つの側面をどう両立させるのか、その両立のために何が難しいのかを知ることができた」「私生活の中でジェンダーバイアスの影響を受けていたことや、逆に自分が無意識にジェンダーバイアスのフィルターをかけてしまっていたことについて気がつくことができた」「自分の視点だけでなく、様々な性別の人のことを考えながら解決策を考えることで様々な案を出すことができると気づき、視野を広げて考えることの大切さを学べた」

7. 社会的インパクト

多様性を尊重するジェンダーフリーな結婚式の提案は両社に高く評価され、今後の実現可能性をウエディングパーク及び八芳園で検討していくことになった。



for Social Design